



### 「負けるもんか！」

6月から7月にかけて、小・中学校、幼稚園、保育園の運動会が行われました。写真は、6月16日に行われた和琴小学校運動会での1コマです。お父さんやお母さんと二人三脚でゴールを目指す競技で、粉だらけになるのもお構いなしでマシュマロをパクッ！

(関連記事24～25ページ)

Public relations magazine

2012.8 No.696

# てしかが

### 主な内容

- 第5次弟子屈町総合計画の前期実行計画…2
- 屈斜路湖遊漁振興条例(素案)検討に向けて…8
- 第66号町議会だより第2回定例会…10
- 運動会・体育大会…24
- なつ・祭り・いろいろ…28
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設…44

むかしむか史 (262)

## てしかが歴史写真館 136

1988年の再建時



今年の解体時

### 屈斜路湖コタンからアイヌ・チセ(家)が消えました

チセの中央に位置している「炉」の薪が赤々と燃え、祭司・日川善次郎さんの祝詞が始まります。謙虚に謙虚に遠慮しながら神々への感謝と願い事。善次郎さんの祝詞は、一つ一つの言葉をはっきりと述べ、抑揚をつけ、美しい言葉でリズムを刻みます。アイヌ語の意味が理解できずとも、自然に感動を覚え、いつの間にかその世界に引き込まれていきます。

神々への願いを静かに終えると、歌名人・キヨさんが奏でる歌に合わせ輪舞が始まり、男も女も、子どもたちや招かれた客人もみんな輪の中。エイホー！エイホー！チセの中は神々と遊ぶ大劇場です。

1977(昭和52)年、日川さんは、この地にチセを自力で建設。1978(昭和53)年に行われた熊送りの儀式や、シマフクロウ、北キツネなどの祭事、日常の神事も、このチセが中心でした。1982(昭和57)年に完成した屈斜路アイヌ民俗資料館の誘致にも、このチセの存在が大きな決め手になりました。1988(昭和63)年、強風で倒壊したチセを再び自力で建設。

日川善次郎さん 1990(平成2)年 79歳

日川 キヨさん 2012年 94歳

お二人の旅立ち後、息子の清さんが受け継ぎ、老朽化したチセの未来を行政側としっかり話し合い、熟考の上で解体を決意。本年6月に姿を消しました。かやぶきのチセは、アイヌ文化の象徴として今日まで屈斜路湖コタンで威風堂々。

永い間お疲れさまでした。

そしてありがとう。

てしかが郷土研究会(充洋)

てしかが 2012.8

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/企画財政課 ☎482-2913 ㊟482-2696  
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています